

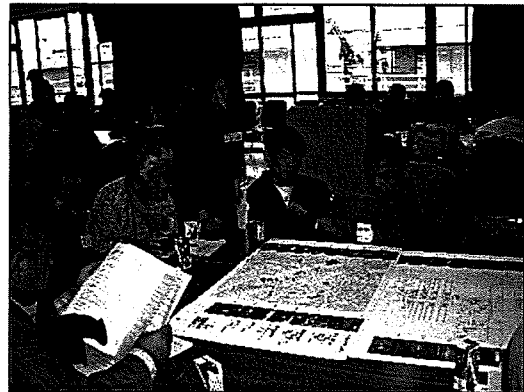
4. 高齢者、身体障害者等のバリアフリーに対する意向調査

高齢者、身体障害者などの方々の利用状況や意向を基本構想へ反映させるため、高齢者、身体障害者などの方々を対象としたワークショップ、タウンウォッチングや、妊産婦などの方々へのアンケート調査を行いました。

1) ワークショップ

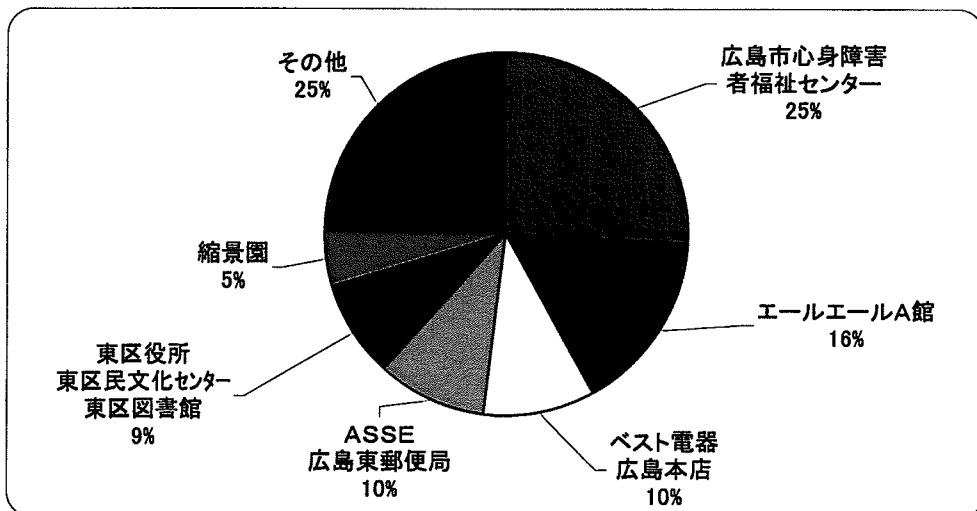
高齢者、身体障害者などの方々を対象に、広島駅を起点として利用する施設や移動手段、経路などの行動調査及び意見交換会を行いました。

日時	平成13年(2001年)10月27日(土) 午前9:30~11:30
会場	広島市心身障害者福祉センター
参加者	参加者49名 (肢体不自由者 18名) (視覚障害者 10名) (聴覚障害者 6名) (高齢者 7名) (その他 8名) ※4班に分けて実施。



ア. 利用者の多い施設

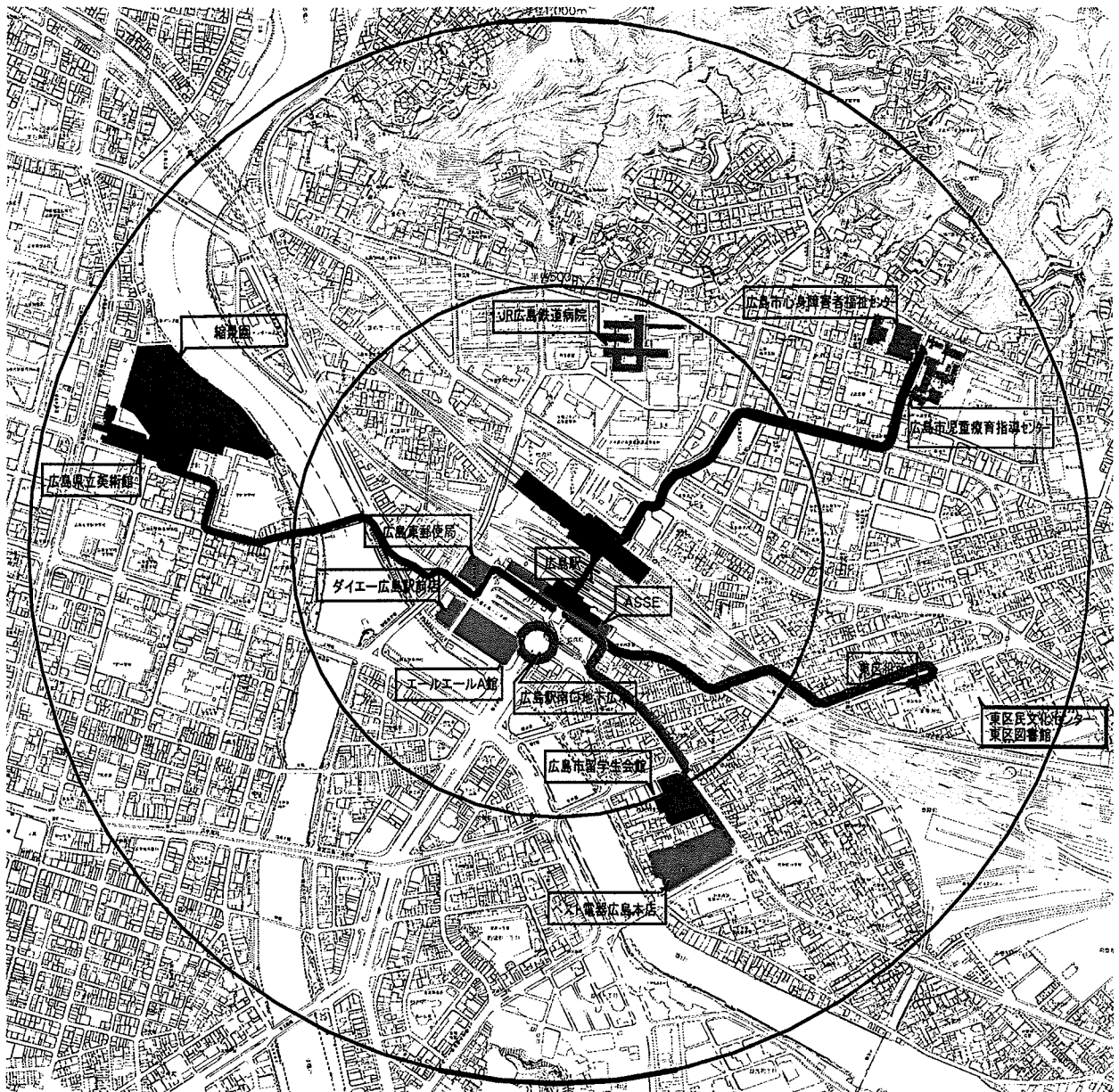
調査の結果、利用者の多かった施設は、① 広島市心身障害福祉センター、② エールエールA館、③ ベスト電器広島本店、④ ASSE・広島東郵便局、⑤ 東区役所・東区民文化センター・東区図書館、⑥ 縮景園 の順で、その他、JR広島鉄道病院、広島市留学生会館などの意見がありました。



イ. 移動経路

利用者が多かった6つの施設の移動手段が、徒歩での移動が半数以上という結果だったことから、それらの施設へ歩いて行く経路について調査した結果、別図のような経路を多く利用することがわかりました。なお、南口駅前広場に隣接するASSE・広島東郵便局は除いています。

各施設までのルート図



ウ. 経路上の問題点

行動調査のほか、目的地までの移動経路上や利用する駅施設などの問題点・課題についての意見交換会を行いました。

駅構内や駅前広場などについては、段差（エレベーター、エスカレーターなどの不足、階段のメンテナンスの不備）や案内表示の不足（視覚障害者誘導用ブロックを含む）、トイレ、券売機など設備の利用しにくさや安全対策への不安などについての意見がありました。

歩道や交差点については、違法駐輪・駐車などの障害物や歩道上の段差、信号機（音響信号機を含む）の不足や歩行者用青時間の短さについての意見がありました。

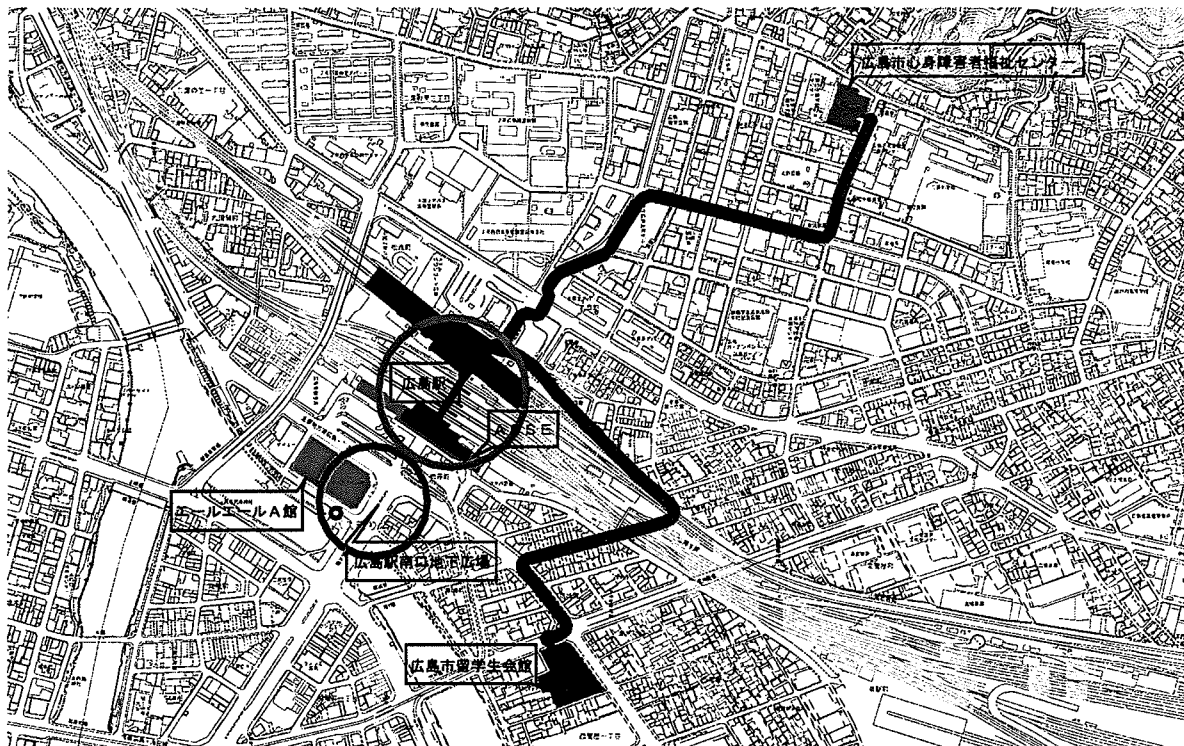
(2) タウンウォッチング

ワークショップでは、JR広島駅を起点とした利用頻度の高い施設や移動経路について調査を行いました。それらの結果を基に調査対象経路を選定し、実際に歩いて移動中のバリアを調査するタウンウォッチングを実施しました。

日時	平成 13 年 (2001 年) 11 月 11 日 (日) 午後 1:00~4:30
参加者	参加者 31 名 〔 肢体不自由者 9 名 視覚障害者 8 名 聴覚障害者 6 名 高齢者 2 名 その他 6 名 〕 ※ 4 班に分けて実施。



調 査 場 所	
1 班	JR 広島駅 (新幹線口) ~ 光町二丁目交差点 ~ 広島市心身障害者福祉センター
2 班	JR 広島駅 (新幹線口) ~ 愛宕踏切 ~ 広島市留学生会館
3 班	JR 広島駅構内、リフト付きバス乗車体験
4 班	地下自由通路、広島駅南口地下広場、バス降り場、エールエール A 館付近、 広島駅南口地下広場、低床電車乗車体験



身体障害者、高齢者などの方々と一緒に、JR広島駅構内や歩道などの歩行空間を歩き、以下の点が気付きとして確認されました。

ア. 歩行空間

(ア) 歩道等

歩道と車道との段差、歩道の幅の狭さ、視覚障害者誘導用ブロック、グレーチング蓋の網目などの改善

違法駐輪・駐車、商店の看板・商品等による障害の除去など

(イ) 交差点

信号機(音響信号機含む)の増設、横断歩道の急な勾配の改善など

(ウ) 踏切

遮断時間が長かつ頻繁であるため、通行できる時間が短く、渡りにくいなど

イ. 駅構内

(ア) 昇降設備

エレベーター、エスカレーターの設置、階段手すりの改善など

(イ) 案内表示

視覚障害者誘導用ブロック、案内表示の改善など

(ウ) トイレ、券売機等

身体障害者対応トイレ内や券売機の改善など

(エ) その他

社員のバリアフリーに対する教育の充実

ウ. 駅前広場等

(ア) 地下自由通路

スロープの急勾配区間、スロープ・階段の手すり、視覚障害者誘導用ブロックの改善など

(イ) 駅前地下広場

案内表示の改善(点字表示・視覚障害者誘導用ブロック等での適切な誘導、音声案内の充実)、階段手すりの改善など

(ウ) エールエールA館付近(バス降り場合む)

信号機の設置(バス降り場～エールエールA館間)など

③ アンケート調査

交通のバリアフリー化を進めるため、また、広島市が目指す「人がやさしいまち」を推進するためには、妊産婦やけが人の方のほか、ベビーカーを利用する人など様々な立場の人々へ配慮することが必要です。

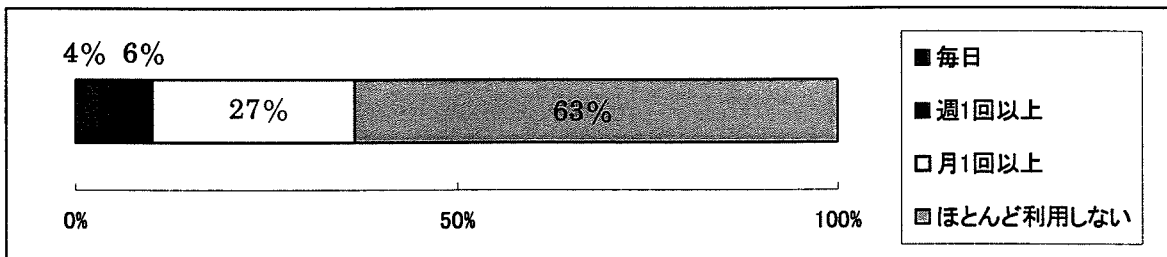
このため、妊娠経験者や子どもと一緒に行動する人などを対象に、広島駅を起点とした行動調査を行いました。

ア. 妊産婦等

日時	平成13年(2001年)11月19日(月)～11月20日(火)
対象者	東区在住の妊娠経験者 49名 (東区厚生部保健福祉課主催の1歳6ヶ月・3歳児健康診査参加の母親) ※妊娠中あるいは子どもと一緒にいる場合についての質問
会場	東区役所

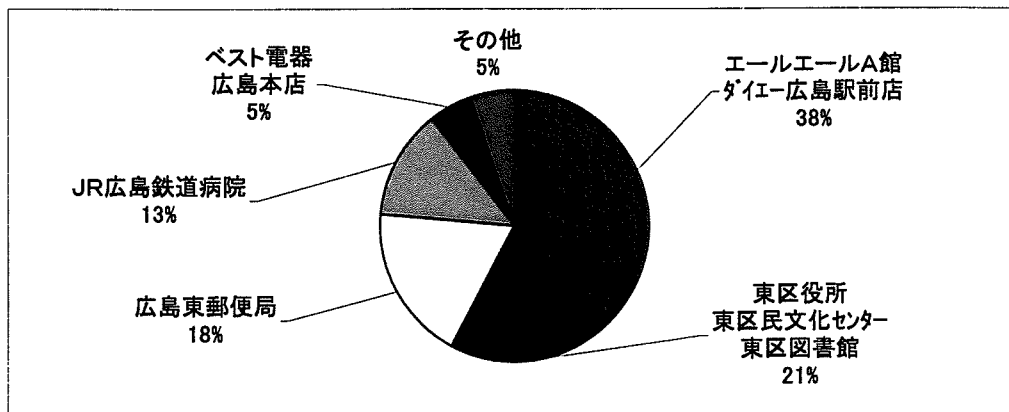
(7) JR広島駅の利用頻度

JR広島駅を月1回以上利用する人は、37%となっています。



(イ) JR広島駅から歩いて行く施設

JR広島駅を月1回以上利用する人が駅から歩いて行く施設は、① エールエールA館・ダイエー広島駅前店、② 東区役所・東区民文化センター・東区図書館、③ 広島東郵便局、④ JR広島鉄道病院、⑤ ベスト電器広島本店の順で、その他バスの乗り換えで利用するといった意見がありました。



(ウ) 移動中のバリア

JR広島駅を利用して施設まで歩いて行くときに感じるバリアについては、
 * 道路上では・・・段差の多さ、歩道の幅の狭さ、違法駐輪・駐車等の障害物など
 * 駅前広場では・・・昇降設備の不足など
 * 駅構内では・・・階段移動の多さ(昇降設備の設置)、最短距離で移動できない案内表示の不足など
 などの意見がありました。

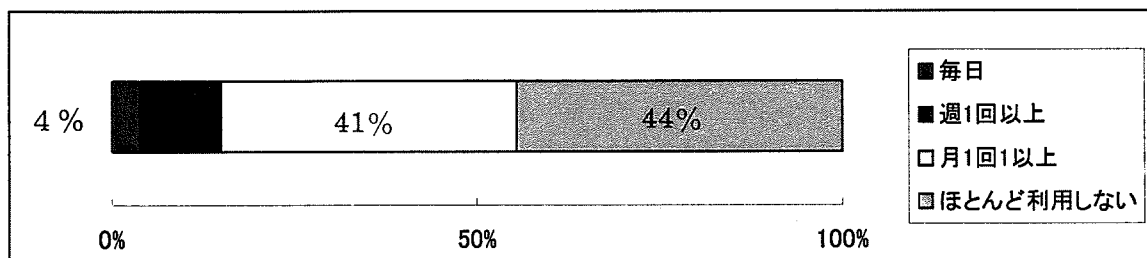
イ. 一般利用者

妊産婦の方々のほか、国土交通省中国運輸局主催の「交通バリアフリー教室」参加者に対しても同様のアンケートを行いました。

日 時	平成 13 年 (2001 年) 11 月 17 日 (土)
対象者	一般利用者 (10~60 歳代の、学生、主婦、会社員等) 27 名
会 場	J R 広島駅

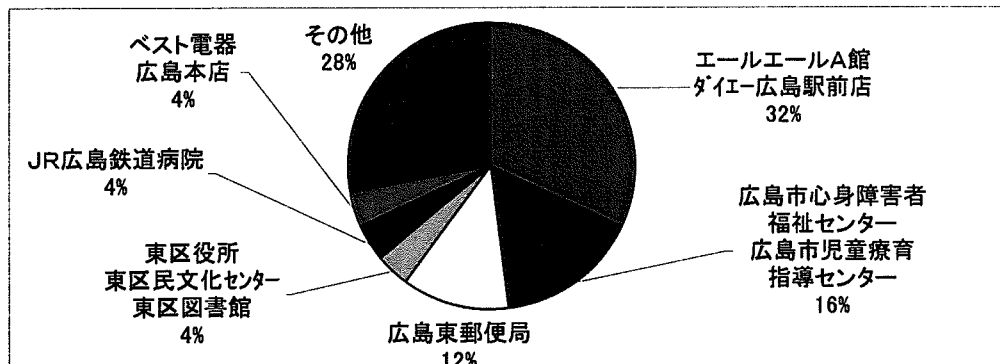
(7) J R 広島駅の利用頻度

J R 広島駅を月 1 回以上利用する人は、54%となっています。



(イ) J R 広島駅から歩いて行く施設

J R 広島駅を月 1 回以上利用する人が、駅から歩いて行く施設は、① エールエールA館・ダイエー広島駅前店、② 広島市心身障害者福祉センター・広島市児童療育指導センター、③ 広島東郵便局、④ 東区役所・東区民文化センター・東区図書館、J R 広島鉄道病院、ベスト電器広島本店の順で、その他八丁堀、広島駅北口バス停、県庁などの意見がありました。



(ウ) 移動中のバリア

広島駅を利用して施設まで歩いて行くときに感じるバリアについて、

- *道路上では・・・段差の多さ、違法駐輪・駐車等の障害物、信号機の歩行者用青時間の短さなど
 - *駅前広場では・・・バス乗り場前の自転車の走行、視覚障害者誘導ブロック付近の上屋の支柱、バス乗り場などの案内表示の不足など
 - *駅構内では・・・エレベーター利用の不便さ、案内表示の解かりにくさなど
 - *その他・・・男子トイレへのベビーシートの未整備、低床車両の不足など
- などの意見がありました。

(エ) 交通バリアフリー推進のための自分自身の取り組み

日頃から気を付けていることやこれから取り組みたいことについて伺ったところ、気軽に声を掛けるよう努める、ハードの整備ではなく人でできることは人でカバーする、歩道上に障害物を置かないようにするなどの意見がありました。